



全校研究だより

第9号

令和3年3月3日(水)

青森県立青森第二養護学校 研修部

校内自作教材・教具展特集!!

冬季休業中に校内自作教材・教具展が行われました。今年度は19点の出品をいただき、先生方が日々の授業において、児童生徒の実態に応じて教材・教具を工夫しながら指導されていることが感じられました。事後アンケートでは「とても参考になった」「自分の学級の生徒にも使ってみたい」等の意見を多数いただきました。その中で、特に「参考になった」という意見が多かった作品を紹介します。

段ボールの家とポスト／海のトンネル 小学部重複Ⅱグループ ・ダイナミックな作りで、子どもがワクワクしそうな感じがします。トンネルの途中で顔を出すところもあって、素敵な教材だと思いました。 ・児童が楽しそうに遊んでいる姿を感じることができました。	玉入れ 千葉 新一 先生 ・ボールの大きさが握りやすく、落ちている様子が見えるので、楽しさがあると感じました。 ・玉の色もカラフルで、入れる順番や何個入れたかも楽しむことができると感じました。	金銭確かめくん 沢目 昭 先生 ・めくったときに数字とお金に分かり、自分で確かめることができていいと思いました。 ・重複学級の生徒の買い物学習で、アレンジを加えての指導も効果的だと思いました。
ひとりでつくれるし 吉田 一彦 先生 ・生徒が自分の気持ちを一人で詩に表すことができる教材で良いと思いました。 ・単語を組み合わせて意味が変わることが視覚化されていて、参考になりました。	気持ちスイッチ 桜田 かおる 先生 ・子どもたちの理解の手助けになるなあと感じました。 ・気持ちのコントロールが難しい児童が多い中、気持ちを切り替えるきっかけになる、押せる心のスイッチという発想が面白く、勉強になりました。	今年度は、管理職からのご助言をいただき、保護者の方への情報発信のために面談週間に出品一覧のポスター掲示も行いました。日々先生方が教材づくりを工夫し、指導していることが伝わったのではないかと思います。 出品していただいた先生方、ご協力ありがとうございました。

研修報告会について



3月5日(金)、15:30～研修報告会を行います。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回は事前録画した映像を各研究グループに分かれて視聴する形で実施します。

【報告内容】

- 1 知的障害特別支援学校における道徳教育を考える

報告者：鎌田章希、白沢さつき

- 2 自閉症児の実態に応じた教材・教具について

報告者：木村めぐみ、福田浩之

- ・事前に配付する資料を持参の上、研究グループごとに教室へ集まって視聴してください。
- ・映像は事前に研究グループのチーフがパソコンへコピー、保存して下さるようお願いします。

【データ保存場所】

photo → 04 分掌 → 研修部
→ ★★研修報告会「研修報告(3/5)」

研究係より



2月に実施した全校研究会で予告したように、研修報告会では道徳に関する研修内容の報告を行います。知的障害特別支援学校の実践事例の報告がありますので、授業づくりの参考にいただければと思います。また、教材・教具に関する研修内容の報告では、校内の自作教材・教具展とは異なる視点でヒントが得られるのではないかと思います。こちらも楽しみに！